

経済・金融  
フラッシュユーロ圏失業率(2024年4月)  
—失業率は6.4%にやや低下

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

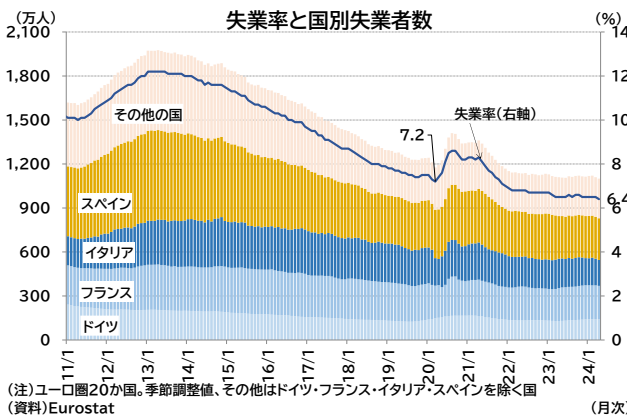
## 1. 結果の概要:失業率は概ね横ばいで推移するなか、6.4%にやや低下

5月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

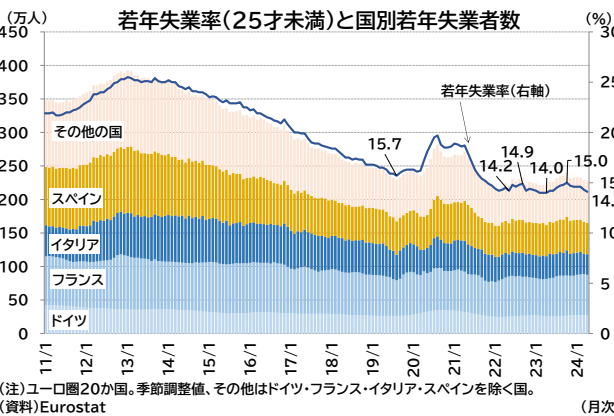
## 【ユーロ圏失業率(20か国、2024年4月、季節調整値)】

- ・失業率は6.4%、市場予想<sup>1</sup>(6.5%)より下振れ、前月(6.5%)から低下した(図表1)
- ・失業者は1099.8万人となり、前月(1109.8万人)から10.0万人減少した

(図表1)



(図表2)



## 2. 結果の詳細:若年失業率はゆるやかな低下基調を辿る

ユーロ圏(20か国)の4月の失業率は6.4%となり、3月(6.5%)からやや低下し、統計データ公表以来の最低値を更新した。なお、3月以前のデータにはほぼ改定がなかった。

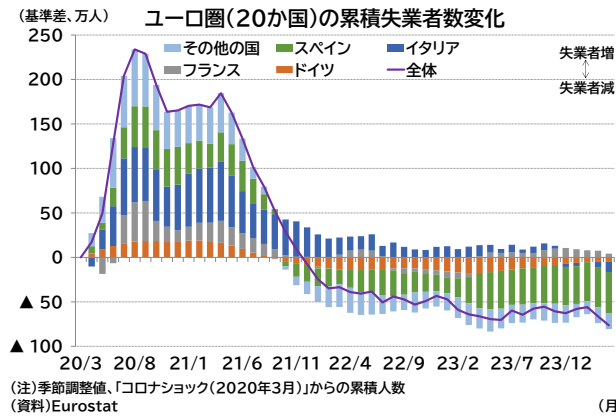
失業者数は4月の前月差で10.0万人減となり、前月(▲10.5万人)に続き2か月連続の減少となった(図表3・4)。主要4か国は、国別にみてもいずれも減少しており、減少幅が大きい順にイタリア(▲5.5万人)、フランス(▲3.3万人)、スペイン(▲0.8万人)、ドイツ(▲0.1万人)となった。

4月の若年失業率は14.1%となり、3月(14.3%)から低下した(前掲図表2)。また、若年失業率の過去データはやや悪化方向に改定された(3月14.1%→14.3%、2月14.4%→14.6%、1月14.4%→14.6%など)。若年失業者数は4月で227.2万人(前月差▲1.9万人)となり4か月連続の前月比減

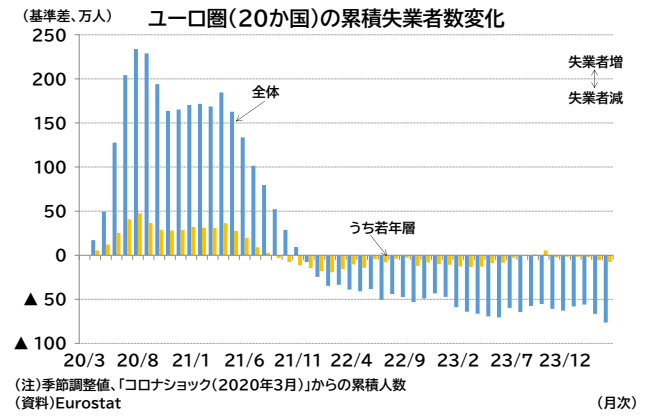
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

少となった。若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の234.9万人）を下回る状態で推移している（図表4）。

（図表3）

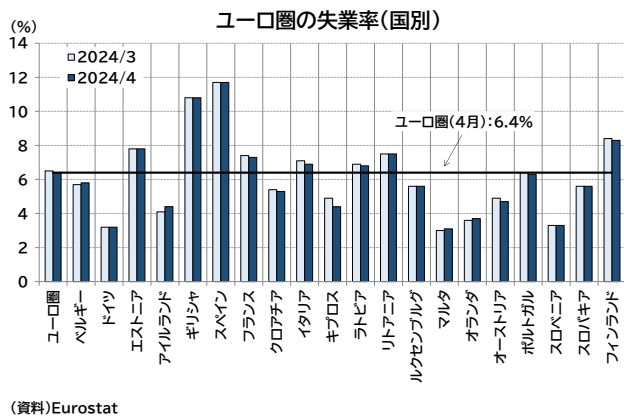


（図表4）

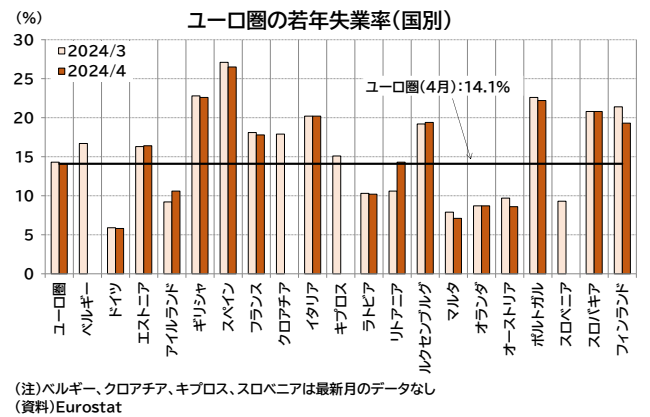


国別の4月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が4か国、改善が8か国、横ばいが8か国となり、やや改善した国が多かった（図表5）。若年失業率も公表されている16か国中、悪化した国が4か国、改善が9か国、横ばいが3か国と改善した国が多かった（図表6）。

（図表5）



（図表6）

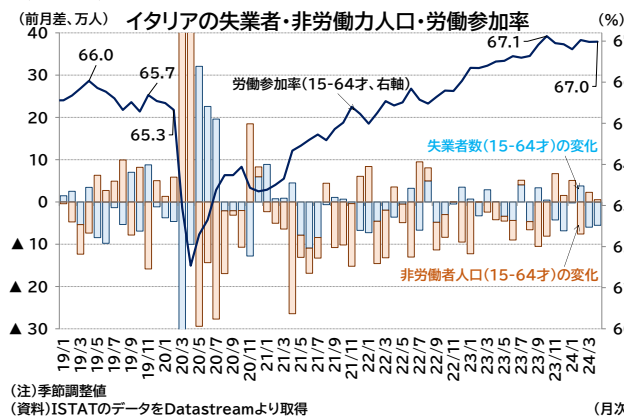


（資料）Eurostat

（注）ベルギー、クロアチア、キプロス、スロベニアは最新月のデータなし  
（資料）Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少、雇用者が増加、非労働力人口も微増した（図表7）。ポルトガルは失業者が減少したが、雇用者も減少しており、非労働力人口が大幅に増加している（図表8）。その結果、労働参加率はイタリアで高止まり、ポルトガルではコロナ禍前よりは高い水準にあるものの、最近では低下傾向を辿っている。

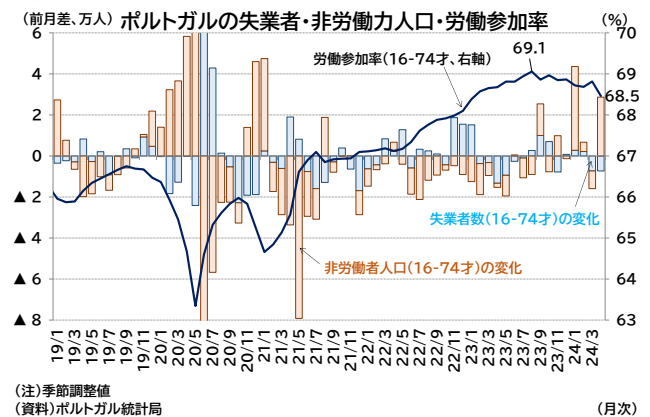
（図表7）



（注）季節調整値  
（資料）ISTATのデータをDatastreamより取得

（月次）

（図表8）



（注）季節調整値  
（資料）ポルトガル統計局

（月次）

（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。